



西おきたま つや姫だより

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 置賜地域本部 西置賜農業技術普及課

穂肥は遅れず・生育診断に応じた“食味重視”の穂肥を！

つや姫の生育は、平年値に比べ、草丈は「やや長い」、茎数は「やや少ない」、葉数は「並み」、葉色は「やや淡い」状況です。

出穂期は平年並み～3日程度早まる見込みです。穂肥は遅れず、生育診断に基づく、“食味重視”の穂肥対応を行いましょ。特に、生育量に応じた中干し、穂肥対応を行い、登熟力が強く気象変動に強い「つや姫」づくりに努めましょ。

1 生育状況（西置賜農業技術普及課生育診断圃）

()内は平年値比・差

6月28日現在		草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
つや姫	飯豊町	53.6 (105)	570 (98)	9.4 (-0.5)	42.2 (-0.6)
	平年	51.2	580	9.9	42.8

2 直ちに中干し・作溝を行いましょ！

中干しは、田面に小ヒビが入る程度を基本とします。生育量が大きい場合や葉色が濃い場合は強めの中干し、生育量が小さい場合や葉色が低下している場合は弱めの中干しとします。

中干し直後は、作溝に水がたまる程度とし、その後徐々に間断かん水を行います。

中干しの効果：無効分げつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化⇒登熟向上

作溝の効果：間断かんがいの効率化⇒根の活力維持、地耐力の向上

作溝は、高温時の水管理“飽水管理”にも有効

3 いもち病・斑点米カメムシ類の対策は万全に！

○いもち病の感染に好適な気象条件が発生しており、葉いもちの蔓延に注意が必要です。

圃場をよく見回り、**早期発見、早期防除**を徹底しましょ。

○イネ科雑草が繁茂している畦畔・農道等の草刈りを地域ぐるみで徹底し、カメムシ類の生息密度低減に努めましょ。また、水田内のノビエやイヌホタルイなどの雑草は斑点米カメムシ類の水田侵入・増殖を促します。**水田内の残草処理**を徹底しましょ。（※除草剤の使用の際は使用基準を遵守）

斑点米カメムシ類注意報発令

発生「多い」！

今すぐ草刈りを行い、斑点米カメムシ類の密度を減らしましょ！



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ



アカスジカスミカメ

農作業事故・熱中症に注意！

◎「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。

◎暑い日が続きます。熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょ！

4 食味重視の穂肥で全量出荷基準（玄米タンパク値基準）達成！

○ 10葉期の生育診断《裏面図を参照》

① 適正域

【㎡あたり茎数が 600 本/㎡以下（70 株/坪：28 本/株以下）、葉色が 39 以下の場合】
→ 出穂 30 日前に **窒素成分 1.5 kg/10a**

② 生育やや過剰・葉色やや濃い

【㎡あたり茎数が 600～650 本/㎡（70 株/坪：28～30 本/株）、または葉色が 39～41 の場合】
→ 出穂 30 日前に **窒素成分で 1.0 kg/10a 以下**

③ 生育過剰・葉色濃い

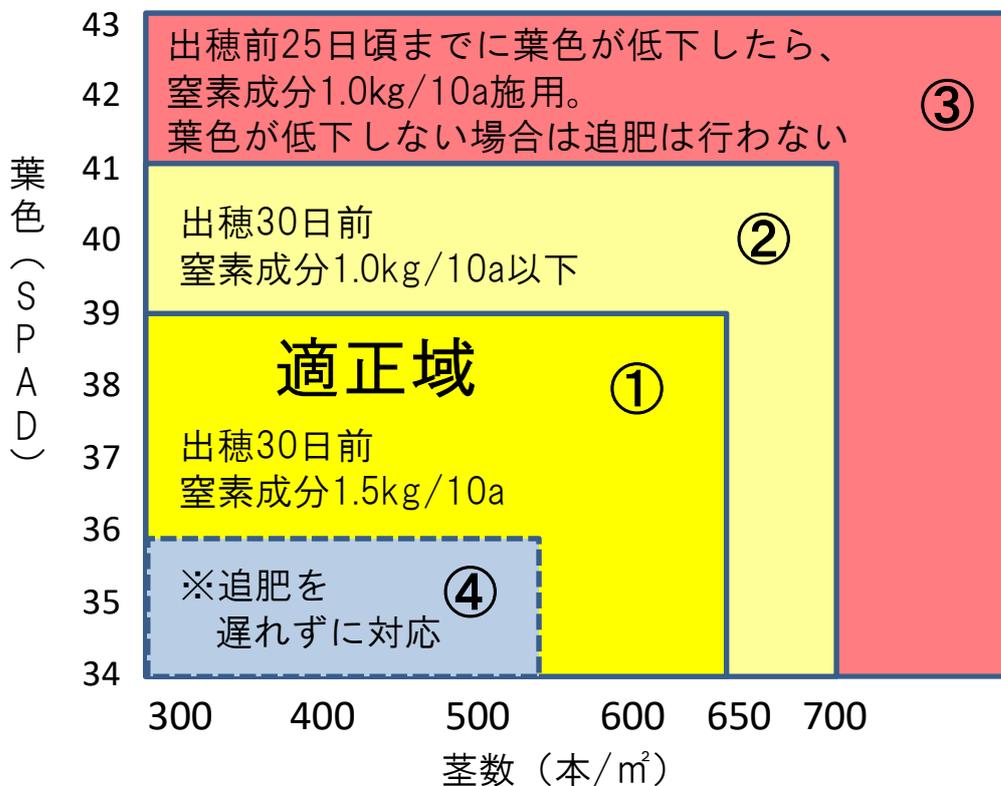
【㎡あたり茎数が 650 本/㎡以上（70 株/坪：30 本/株以上）、または葉色が 41 以上の場合】
→ 出穂 25 日前頃まで葉色が低下したら、窒素成分で 1.0 kg/10a 施用
葉色が低下しない場合は追肥を行わない。

④ 生育量小さい・葉色薄い

【㎡あたり茎数が 500 本/㎡以下（70 株/坪：24 本/株以下）、かつ葉色が 36 以下の場合】
→ 出穂 30 日前まで、**窒素成分で 1.5 kg/10a 以下**

※追肥量を多くすると
消化しきれずにタンパクが高まる！

【10葉期の生育診断】



今年の出穂予想：8/7～10頃→追肥時期の目安7/8～11頃

追肥時期が遅れると、玄米粗タンパク含有率が高まり、食味が低下する恐れあり。

生育診断に基づき、遅れずに追肥を実施しましょう！